

2025年度公募情報(競争的研究資金等)【応募単位:研究者単位】

No.124	令和8年度 難治性疾患実用化研究事業【若手育成枠あり】	
機関名	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構	
募集締切 (公募機関)	2025年11月25日(火) 【午前12時】 厳守	
本部研推締切日	研究推進部 事前連絡締切日	2025年11月18日(火)
応募方法	e-R a dによる提出 ※e-R a dへの応募情報の提出は各申請者が行ってください。	
所属研究機関の承認(e-Rad)	必要	
研究推進部 事前了解 (原議書の回付)	不要	
概 要	本事業は、「希少性」、「原因不明」、「効果的な治療方法未確立」、「生活面への長期にわたる支障」の4要件を満たす希少難治性疾患を対象として、病因・病態の解明、画期的な診断・治療・予防法の開発を推進することで、希少難治性疾患の克服を目指すものです。公募の対象となる研究開発課題は以下のとおりです。 ●医薬品分野：希少難治性疾患に対する画期的な医薬品の実用化に関する研究分野 《A-1》課題名：医薬品のシース探索研究(医薬品ステップ0) 研究開発費：1 課題あたり年間20,000 千円（上限）（間接経費を含まず） 採択予定数：0～5課題程度 《A-2》課題名：超希少難治性疾患に対する医薬品のシース探索研究(医薬品ステップ0・超希少) 研究開発費：1 課題あたり年間20,000 千円（上限）（間接経費を含まず） 採択予定数：0～3課題程度 《A-3》課題名：医薬品の治験準備(医薬品ステップ1) 研究開発費：1 課題あたり年間60,000 千円（上限）（間接経費を含まず） 採択予定数：0～6課題程度 《A-4》課題名：医薬品の治験(医薬品ステップ2) 研究開発費：1 課題あたり年間80,000 千円（上限）（間接経費を含まず） 採択予定数：0～1課題程度 DR は 60,000 千円（上限） DCT は、さらに 1 課題あたり年間20,000 千円を増額可能とする ●再生・細胞医療・遺伝子治療分野：希少難治性疾患に対する画期的な再生・細胞医療・遺伝子治療の実用化に関する研究分野 《B-1》課題名：再生・細胞医療・遺伝子治療のシース探索研究(再生等ステップ0) 研究開発費：1 課題あたり年間20,000 千円（上限） 採択予定数：0～3課題程度 《B-2》課題名：再生・細胞医療・遺伝子治療の治験準備(再生等ステップ1) 研究開発費：1 課題あたり年間60,000 千円（上限） 採択予定数：0～1課題程度 《B-3》課題名：再生・細胞医療・遺伝子治療の治験(再生等ステップ2) 研究開発費：1 課題あたり年間80,000 千円（上限） 採択予定数：0～1課題程度 ●医療機器分野：希少難治性疾患に対する画期的な医療機器の実用化に関する研究分野 《C-1》課題名：医療機器のシース探索(医療機器ステップ0) 研究開発費：1 課題あたり年間20,000 千円（上限） 採択予定数：0～1課題程度 《C-2》課題名：医療機器の治験準備(医療機器ステップ1) 研究開発費：1 課題あたり年間60,000 千円（上限） 採択予定数：0～1課題程度 《C-3》課題名：プログラム医療機器の研究開発（SaMD） 研究開発費：1 課題あたり年間10,000 千円（上限） 採択予定数：0～1課題程度 ●エビデンス創出分野：診療に直結するエビデンス創出研究分野 研究開発費：年間 10,000 千円（上限） 採択予定数：全体で0～16課題程度 （適応外の臨床研究を含む場合は15,000 千円上限） 《D-1》課題名：希少難治性疾患の診療に直結するエビデンス創出研究 《D-2》課題名：小児期発症の希少難治性疾患の診療に直結するエビデンス創出研究（小児） 《D-3》課題名：超希少難治性疾患の診療に直結するエビデンス創出研究（超希少） 《D-4》課題名：希少難治性疾患のリアルワールドデータ活用によるエビデンス創出研究（RWD） 《D-5》課題名：希少難治性疾患における栄養管理のエビデンス創出研究（栄養）	

概 要	●個別化医療分野：希少難治性疾患の個別化医療の推進等に資する研究分野 《E-1》課題名：希少難治性疾患の個別化医療の実現に向けたゲノム研究（焦点領域深化型研究） 研究開発費：1 課題あたり年間50,000 千円（上限） 採択予定数：0～4課題程度 《E-2》課題名：希少難治性疾患の個別化医療の実現に向けたゲノム研究（先端技術探索型研究） 研究開発費：1 課題あたり年間20,000 千円（上限） 採択予定数：0～3課題程度 《E-3》課題名：希少・未診断疾患における創薬を目指したデータ駆動型研究（IRUD 利活用創薬） 研究開発費：1 課題あたり年間35,000 千円（上限） 採択予定数：0～1課題程度 《E-4》課題名：希少・未診断疾患における病因遺伝子変異候補のモデル動物解析と創薬シーズ提案を目指した応用研究（モデル動物創薬） 研究開発費：1 課題あたり年間35,000 千円（上限） 採択予定数：0～1課題程度 《E-5》課題名：N-of-1+ 創薬推進に関する研究（N-of-1+創薬） 研究開発費：1 課題あたり年間50,000-70,000千円（上限） 採択予定数：0～1課題程度 （初年度は 50,000円、次年度以降は70,000 千円を上限） ●病態解明分野：希少難治性疾患の克服に結びつく病態解明研究分野 《F-1》課題名：創薬標的の探索を目指した希少難治性疾患の病態解明（病態解明・Research O） 研究開発費：1 課題あたり年間10,000 千円（上限） 採択予定数：0～7課題程度 《F-2》課題名：若手研究開発代表者による創薬標的の探索を目指した希少難治性疾患の病態解明（病態解明・若手・Research YO） 研究開発費：1 課題あたり年間7,500 千円（上限） 採択予定数：0～4課題程度 《F-3》課題名：希少難治性疾患の病態解明により見出した創薬標的の検証（病態解明・Research 1） 研究開発費：1 課題あたり年間15,000 千円（上限） 採択予定数：0～2課題程度 《F-4》課題名：若手研究開発代表者による希少難治性疾患の病態解明により見出した創薬標的の検証（病態解明・若手・Research Y1） 研究開発費：1 課題あたり年間15,000 千円（上限） 採択予定数：0～1課題程度
-----	--

※ 貴部局にて申請がある場合は、事前連絡締切日までに所定の《事前連絡様式》にて、研究代表者名・研究分担者名等の連絡をお願い致します。

※応募に関するお問い合わせは各部局の担当者までお願いします。